2014 年度事業報告書

（2014 年 4 月 1 日　～　2015 年 3 月 31 日）

健康科学ビジネス推進機構

2014 年度事業報告書

Ⅰ．当機構の状況に関する重要な事項

１．概要

2014 年度は、健康関連ビジネスの創出・推進として、事業化コンソーシアム事業や健康科学ビジネスベストセレクションズの実施、人材育成・普及啓発として、視察会や研究会、健康運動セミナーを開催し、各事業において活動を本格化いたしました。

なお、現在（2015 年 3 月末時点）の機構会員数は、一般会員 30 社、特別会員 39 機関の計 69 会員となっております。（会員数変動については、Ⅲ．その他をご参照ください。）

２．事業活動

（１）．健康科学におけるエビデンス構築支援

・エビデンス構築に関するコンサルティング

昨年度に引き続きエビデンス評価支援の実施に関わる体制として、常設の相談窓口を設置し、エビデンス構築に関する技術的相談の対応を実施いたしました。（相談対応件数 2 件）

・エビデンス評価

エビデンス評価マークの使用申請が 1 件（4 機能分）あり、エビデンス評価マーク（癒し・快適分野№２～５）の使用許諾契約を締結しました。

（２）健康科学ビジネス創出および推進支援

・事業化コンソーシアムの運営

健康科学ビジネスの創出を目的として、大阪市立大学健康科学イノベーションセンターと共催により以下の４つの分野（「健康医学空間創出」、「スーパーフード創出」、「超高感度センシング」、「子どもウェルネス創出」）で事業化コンソーシアムを開催・運営しました。（開催状況は次表のとおり）なお、開催予定であった「脳科学ビジネス創出」事業化コンソーシアムについては、今年度の実施はありませんが、他機関と連携を調整しています。

事業化コンソーシアム名		第１回	第２回	第３回	第４回	第５回
健康医学空間創出	開催日	2014 年６月 23 日	2014 年９月４日	2014 年 12 月 18 日	―	―
	開催場所	グランフロント大阪　カンファレンスルームＣ７	大阪市立大学健康科学イノベーションセンター	大阪市立大学健康科学イノベーションセンター		
	参加人数	29 名（講師・事務局含む）	15 名（講師・事務局含む）	14 名（講師・事務局含む）		
	内容	①プレゼンテーションと質疑応答 「健康医学空間」に関する話題提供（大阪市立大学大学院医学研究科疲労医学講座　教授　梶本修身氏）（淀川キリスト教病院事業統括本部局長付け課長　卯津羅泰生氏）（積水ハウス株式会社　近藤雅之氏） ②ディスカッション	①プレゼンテーションと質疑応答 「快適空間の創出」について（大阪市立大学大学院医学研究科疲労医学口座　教授　梶本修身氏） ②ディスカッション	①プレゼンテーションと質疑応答 「『健康寿命の延びる沿線』の実現のために」（阪急阪神ホールディングス株式会社グループ経営企画室事業政策部部長　西水卓也氏） 「ユニバーサルデザイン～安全安心・健康快適な住まいのために」（積水ハウス株式会社総合住宅研究所　部長　田中眞二氏） ②ディスカッション		
スーパーフード創出	開催日	2014 年７月 29 日	2014 年９月 29 日	2014 年 11 月５日	2015 年２月 19 日	―
	開催場所	グランフロント大阪　ナレッジサロン	大阪市立大学健康科学イノベーションセンター	グランフロント大阪　ナレッジサロン	大阪市立大学健康科学イノベーションセンター	
	参加人数	27 名（講師・事務局含む）	14 名（講師・事務局含む）	16 名（講師・事務局含む）	15 名（講師・事務局含む）	
	内容	①プレゼンテーションと質疑応答「スーパーフード創出にあたっての課題」（大阪市立大学健康科学イノベーションセンター　堀洋氏） 「イミダペプチドドリンクの開発と事業展開」（日本予防医薬株式会社　石神賢太郎氏） 「ＣｏＱ１０に関する最新の研究動向について～上島プロジェクトのご紹介」（株式会社カネカ　藤井健志氏） ②ディスカッション	①プレゼンテーションと質疑応答 「網羅的代謝解析から次世代型健康ふりかけ食品を生み出せるか？」（独立行政法人理化学研究所　片岡洋祐氏） ②ディスカッション	①プレゼンテーションと質疑応答 「新たな機能性表示の科学的実証と今後の展望」（名古屋文理大学健康生活学部　教授　清水俊雄氏） 「抗老化に有効な機能性食品印紙をスクリーニングする線虫モデルについて」（大阪市立大学大学院生活科学研究科　教授　西川禎一氏）	①プレゼンテーションと質疑応答 「ヘルスフードビジネスの展開」（早稲田大学 ナノ理工学研究機構 規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門 研究院 教授　矢澤一良氏） 「アスタキサンチンの抗疲労効果」（アスタリール株式会社 リテール事業本部　ＭＮ事業部　海外営業部長兼 学術担当部長　山下栄次氏） ②ディスカッション	

事業化コンソーシアム名		第１回	第２回	第３回	第４回	第５回
超高感度センシング	開催日	2014 年８月 25 日	2014 年 11 月 28 日	―	―	―
	開催場所	グランフロント大阪　ナレッジサロン	大阪市立大学健康科学イノベーションセンター			
	参加人数	19 名（講師・事務局含む）	14 名（講師・事務局含む）			
	内容	①プレゼンテーションと質疑応答 「超高感度センシング」に関する話題提供（アトナープ株式会社　代表取締役社長ＣＥＯ　佐藤友美氏）（独立行政法人理化学研究所ライフサイエンス技術基盤センター　レイザー特別研究ユニットリーダー　和田智之氏） ②ディスカッション	①プレゼンテーション 「研究開発進捗と展開方向に関する話題提供」（アトナープ株式会社　佐藤友美氏）（独立行政法人理化学研究所　和田智之氏） ②ディスカッション			
子どもウェルネス創出	開催日	2014 年６月５日	2014 年８月９日（第１回大阪こども会議～眠育のススメ～）	2014 年 10 月 21 日）	2014 年 12 月 12 日	2015 年３月 29 日（第２回大阪子ども会議）
	開催場所	グランフロント大阪　ＨＤＣ大阪	グランフロント大阪　コングレコンベンションセンター	グランフロント大阪　ナレッジサロン	大阪市立大学健康科学イノベーションセンター	グランフロント大阪　ナレッジシアター
	参加人数	33 名（講師・事務局含む）	24 名（こども一般参加者数）	13 名（講師・事務局含む）	１２名（事務局含む）	156 名（アンケート回答者数）
	内容	①プレゼンテーションと質疑応答「必要十分な睡眠が子どもと日本の未来を育てる～睡眠不足の蓄積から生じる小児慢性疲労病態について～」（兵庫県立リハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達センター　田島世貴氏） 「『子どもと運動』に関する話題」（大阪市立大学都市健康・スポール研究センター　岡崎和伸氏） 「『子ども大学・医学部』の取り組みに関する話題」（株式会社新産業文化創出研究所　廣常啓一氏） 「『子どもウェルネスプロジェクトの展開』に関する意見交換・討議」（株式会社スマイル・マーケティング　髙橋健三氏）	一般参加者に睡眠に関するクイズ、まくら作り体験、講演会を開催	①「第１回大阪こども会議」のとりまとめと課題抽出 ②今後の活動計画の討議	「第２回 大阪子ども会議」企画の検討・協議	１．第２回大阪こども会議～「めっちゃ気持ちええ睡眠」について～ ・「未来の快眠モデル」について新たなコンセプトを提案し、子どもたちがその提案にツッコミを入れるという双方向な会議 ２．体験型ワークショップ ①　親子で体験　子どものためのインテリアレッスン（積水ハウス株式会社） ②　_〔小中学生対象〕ピッタリは気持ちいい　はかってつくろう！手作り自分のまくら（西川リビング株式会社） ③　〔おとな対象〕ピッタリは気持ちいい　自分に合わせた敷きふとん、フィッティング体験（西川リビング株式会社） ④　親子で１分疲労測定体験（大阪市立大学・健康科学イノベーションセンター）

・実証試験支援・テストマーケティング

昨年度に引き続き、ビジネス創出及び推進支援の実施に関わる体制として、常設の相談窓口を設置しました。

・健康科学ビジネスセレクションズ

人々の健康的な暮らしを支援する先進的な製品、サービス、研究開発などの取組みを募集し、特に優れた取組事例を積極的に評価し選出することで、健康関連製品のエビデンスに基づく製品・サービスの普及と健康関連産業の振興に寄与することを目的に「健康科学ビジネスベストセレクションズ」を実施しました。

<table>
<tr><td>主催/
後援</td><td>（主催）健康科学ビジネス推進機構
（後援）関西経済連合会、近畿経済産業局、京都府、大阪府、兵庫県、
京都市、大阪市、神戸市、都市活力研究所、大阪市都市型産業振興センター、
健康科学推進会議</td></tr>
<tr><td>募集期間</td><td>2014 年 7 月 16 日～9 月 15 日</td></tr>
<tr><td>募集対象</td><td>人々の健康的な暮らしを支援する研究、システム開発、製品、施設、事業等の取組み　※結果発表時に公表できるものに限る。</td></tr>
<tr><td>募集部門</td><td>「製品・サービス部門」、「研究開発・取組み部門」の 2 部門</td></tr>
<tr><td>広報</td><td>特設サイト（http://ohs-net.jp/bestselections/）、チラシ配布、ポスター掲出、メルマガ配信等による広報（後援機関、ヘルスケア関連団体（（独）産業技術総合研究所関西センター、（一財）関西情報センター、（一財）大阪科学技術センター）、機構会員等）</td></tr>
<tr><td>募集結果</td><td>応募総数 39 件
うち、「製品・サービス部門」　21 件
「研究開発・取組み部門　18 件</td></tr>
<tr><td>選考</td><td>選考については、健康分野の有識者に選考委員にご就任いただき、選考委員会を開催し選考しました。
<table>
<tr><td>選考委員長</td><td>渡辺恭良氏（独立行政法人理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター　センター長）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">選考委員</td><td>太田賢司氏（国立大学法人奈良先端科学大学院大学　理事）</td></tr>
<tr><td>樽林陽一氏（独立行政法人医薬基盤研究所　理事）</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td></td><td>高杉　豊氏（公益財団法人大阪府保健医療財団　理事長）</td></tr>
<tr><td></td><td>宮田　満氏（株式会社日経ＢＰ　特命編集委員）</td></tr>
</table>

選考委員会の開催状況は以下のとおりです。
<table>
<tr><td>第 1 回
開催日：2014 年 9 月 30 日
開催場所：グランフロント大阪　ナレッジサロン</td><td>・事務局より募集状況の説明
・選考委員長の選出
・選考基準、選考方法の決議</td></tr>
<tr><td>第 2 回
開催日：2014 年 11 月 6 日
開催場所：機構事務局　会議室</td><td>・各選考委員の投票状況
・選出の討議および合議により決定
（選考委員会より機構に推薦）</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>選考基準</td><td>選考委員の意見を踏まえ、以下の選考基準に基づき、合議により選考を行いました。
・　エビデンスに立脚した成果であるか
・　新規性、独創性を有しているか
・　事業の保護（特許等）や市場性を有しているか
・　社会に貢献する取組みであるか</td></tr>
<tr><td>選考結果</td><td>健康科学ビジネスベストセレクションズ　　26 件
特別賞　3 件　　※入選作品、特別賞の詳細は、部門毎の一覧表のとおり。</td></tr>
<tr><td>発表</td><td>2014 年 12 月 10 日
（機構主催「健康科学ビジネス創造フォーラム」において発表）
※同フォーラムの内容は、健康科学ビジネス創造フォーラム開催概要を参照。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>・「健康科学ビジネスベストセレクションズ」事例集の作成
・経済雑誌日経ビジネスへの掲載（1 月 26 日号）
・特設サイトへの日本語・英語版の掲出</td></tr>
</table>

（製品・サービス部門（16 件）一覧）

タイトル	企業・団体名
疲労回復を目的にした休養時専用スポーツウェア「リカバリーウェア」	㈱ベネクス
クラウド型「疲労・ストレス測定システム」の開発	㈱日立システムズ／㈱疲労科学研究所

タイトル	企業・団体名
トレーニング方法「TABATA」の国際展開	立命館大学　スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科　教授　田畑泉
データによる個別最適な運動プログラム作成システム「メディカルフィットネス」	コガソフトウェア㈱　関西支社
高次脳機能障害者向け生活支援アプリ「あらた」	㈱インサイト
ヘルスケア手帳サービス	パナソニックヘルスケア㈱
ＩＣＴでつながる健康支援「ウェルスポートシリーズ」	パナソニックヘルスケア㈱
空気環境配慮仕様『エアキス』	積水ハウス㈱
スローリビング	積水ハウス㈱
科学に基づいた睡眠知識の普及と実践のための人材育成および睡眠知識プラットフォームの構築事業	一般社団法人 日本睡眠教育機構
新しいお茶習慣を提案する「ヘルシオお茶プレッソ」	シャープ㈱
癒し・快適な照明環境を実現する照明色「さくら色」の商品群	シャープ㈱
生物から学んだ、心地いい風を創る羽根形状の扇風機	シャープ㈱
風による冷えすぎを抑える癒し･快適な気流制御のエアコン	シャープ㈱
健康と室温の関係の検証をもとに生まれた空調システム「エアスイート」	大和ハウス工業㈱　総合技術研究所
疲労回復やストレス緩和、集中力向上に、即効性のある新発想の抗疲労製品。癒しの香り「緑林の香り」	日本予防医薬㈱

（研究開発・取組み部門（10 件）一覧）

タイトル	企業・団体名
炭酸ガス経皮吸収による疲労回復の研究	ネオケミア㈱
クロレラ摂取及びクロレラ摂取と運動の併用が健康に与える効果に関する研究およびその普及	㈱サン・クロレラ
予防医療機器の産学連携開発と消費者参加の場での展開	㈱疲労科学研究所　他
醤油多糖類の健康機能に関する研究	ヒガシマル醤油㈱

タイトル	企業・団体名
健康１００日プロジェクト（協力：チーム・ミライズ）	㈱ウェルビネ
睡眠空間	積水ハウス㈱
エビデンスに基づく患者支援プログラム：３☆（スリースター）ファーマシスト研修	京都医療センター
電動歩行アシストカート	ＲＴ．ワークス㈱
見守りかぼちゃん	ピップ㈱
眠育プロジェクト	西川リビング㈱

（特別賞（３件）一覧）

タイトル	企業・団体名
新しいお茶習慣を提案する「ヘルシオお茶プレッソ」	シャープ㈱
睡眠空間	積水ハウス㈱
眠育プロジェクト	西川リビング㈱

（「健康科学ビジネス創造フォーラム」開催概要）

主催/後援	（主催）健康科学ビジネス推進機構 （後援）関西経済連合会、近畿経済産業局、京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市、都市活力研究所、大阪市都市型産業振興センター、健康科学推進会議
開催日時	12 月 10 日（水）13:00　～　17:00
開催場所	グランフロント大阪　ナレッジシアター
参加者数	約 250 名（内プレス 4 社 7 名）
プログラム	○主催者挨拶 ○第 1 部「健康科学分野のビジネスチャンスと課題」 講演①「健康長寿社会の実現に向けたエビデンスに基づく製品等の普及」 （（独）医薬基盤研究所 理事　樽林 陽一氏） 講演②「公的保険外サービスとヘルスケアビジネスの展開」 （経済産業省 商務情報政策局 ヘルスケア産業課長　森田 弘一氏） 講演③「ロボティクスビジネスの健康・医療分野への応用」 （（株）国際電気通信基礎技術研究所 社会メディア総合研究所 研究企

	画部長 兼 知能ロボティクス研究所 ネットワークロボット研究室 室長　宮下 敬宏氏） 講演④「健康ビジネスの最新トレンド」 （（株）日経ＢＰ 特命編集委員　宮田 満氏） ○第 2 部「健康科学ビジネスベストセレクションズ発表式」 ・製品・サービス部門、研究開発・取組み部門、特別賞を発表 ・授賞式・選考委員からの講評 ・受賞者によるプレゼンテーション（6 件） ※プログラムの他、会場内にて受賞製品・サービス、取組みを展示 ○展示・ブース関連・名刺交換会

（3）人材育成・普及啓発等、その他の支援

・健康科学ビジネスに関わる（専門）人材育成向けスキルアップセミナーの開催

健康科学分野における人材のスキルアップを目的に健康運動士等を対象に公益財団法人フィットネス 21 事業団と機構の共催により「健康運動セミナー」を開催しました。（開催状況は次表のとおり）

開催日	内　容
2014 年 9 月 20 日、21 日（第 1 回）	開催場所：デサント大阪オフィス 参加者：（20 日）69 名、（21 日）74 名 プログラム： （20 日） ○実習「姿勢改善のための骨盤底筋へのアプローチ法」 （ＮＰＯ法人いきいきのびのび健康づくり協会会長 尾崎由美子氏） ○実習「腰痛を予防・改善するトレーニング」 （医療法人貴島会ダイナミックスポーツ医学研究所副所長 若森真樹氏） ○講義「生活習慣病とその対策」 （プール学院大学教育学部教育学科教授 兼 健康・スポーツ科学センター長　　岡田邦夫氏） （21 日）

	○実習「あらゆるスポーツに通じる体幹トレーニング」 （日本コアコンディショニング協会認定Ａ級講師　田中満氏） ○講義「体重コントローツのために知っておきたい栄養学－４つの知恵－」（兵庫県立大学環境人間学部教授　永井成美氏） ○実習「人と身体の関係性を知る－心が変われば姿勢が変わる－」 （米国ＮＬＰ協会認定ＮＬＰトレーナー　石田満奈美氏）
2015 年 3 月 28 日、29 日（第 2 回）	開催場所：デサント大阪オフィス 参加者：（28 日）54 名、（29 日）60 名 プログラム： （28 日） ○実習「コアトレーニングとトレーニング器具の上手な使い方」 （日本コアコンディショニング協会認定Ａ級講師　田中満氏） ○実習「体脂肪率を減らす６つのポイント」 （身体の本質プロジェクト主宰　八田誠二氏） ○講義「熱中症にならないために－暑さに強い身体を創る秘策－」 （大阪市立大学大学院医学研究科運動環境整理学分野准教授 岡崎和伸氏） （29 日） ○実習「転倒予防のための機能改善体操」 （ＮＰＯ法人いきいきのびのび健康づくり協会会長　尾崎由美子氏） ○実習「子供のコーディネーショントレーニング」 （医療法人貴島会ダイナミックスポーツ医学研究所副施設長 元橋智彦氏） ○講義「メタボリックシンドロームを防ぐ－食べる順番療法－」 （大阪府立大学地域保健学域 総合リハビリテーション学類 栄養療法学専攻教授　今井佐恵子氏）

・健康科学ビジネスに関する最新情報の提供

健康科学ビジネスに関する最新情報の提供として、現地視察会等の実施を行った。（開催状況は次表のとおり。）

開催日	内　容
2014 年 10 月 30 日	「神戸医療産業都市視察会」 主催：健康科学ビジネス推進機構、（公社）関西経済連合会 開催場所：神戸キメックセンタービル、先端医療センター、 神戸低侵襲がん医療センター 参加者：33 名 内容：　①神戸市の取組み紹介、神戸医療産業都市俯瞰見学 ②先端医療センターの取組み紹介、「脳アンギオ」の見学 ③神戸低侵襲がん医療センターの取組み紹介、高性能最先端医療機器放射線治療機の見学
2014 年 12 月 10 日	「健康科学ビジネス創造フォーラム」　※再掲のため内容省略
2015 年 2 月 21 日	「医療介護ビジネス創造研究会“メディサロン”～介護予防編～」 主催等：（主催）（公財）大阪市都市型産業振興センター （後援）健康科学ビジネス推進機構、株式会社紀陽銀行 ＮＰＯ法人メディカルベンチャー会議、大阪市、 開催場所：コラボス 316 参加者：17 名 内容：　現役医師と新製品・サービス創出に向けたディスカッション

・生活者への健康づくり支援

・　メールマガジンの配信（16 回）、ホームページへの掲載による情報発信を実施。

Ⅱ．業務の適正を確保するための役員会の開催について

１．役員会

当機構では、役員会を 2014 年度は計４回開催しました。

第 12 回役員会	開催日時：2014 年４月 23 日　16:00～16:50 開催場所：大阪市立大学健康科学イノベーションセンター会議室
第 13 回役員会	開催日時：2014 年５月 12 日　16:00～17:30 開催場所：大阪市立大学健康科学イノベーションセンター会議室
第 14 回役員会	開催日時：2014 年 11 月４日　16:00～17:00 開催場所：グランフロント大阪ナレッジサロンルームＣＤ
第 15 回役員会	開催日時：2015 年２月 16 日　16:00～17:30 開催場所：大阪市立大学健康科学イノベーションセンター会議室

２．諮問委員会

当機構では、諮問委員会を 2014 年度は計１回開催しました。

第４回諮問委員会	開催日時：2015 年３月 13 日　10:00～12:00 開催場所：グランフロント大阪　カンファレンスルームＣ０７

Ⅲ．その他

１．執行体制

執行体制（50 音順・2015 年 3 月末時点）は次のとおりです。

役員　代表理事　阿部　孝次（公益社団法人関西経済連合会 理事）
　　間　　健一（関西バイオメディカルクラスター（ＫＢMC）
　　健康科学推進会議 顧問）
　監事　　向井　秀一（宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション
　　淀川キリスト教病院　理事長補佐
　　兼附属うめきたクリニック　院長）

事務局　局長　　野島　　学（公益社団法人関西経済連合会 産業部長）
　局職員　　卯津羅泰生（宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション
　　淀川キリスト教病院　事業統括本部　局長付　課長）※
　　鋤納　　心（ソフトプラティカ株式会社 代表取締役）
　　前井　宏之（北浜国際特許事務所　所長・弁理士）
　　松田　文雄（立命館大学研究部リサーチオフィス（ＢＫＣ）
　　産学官連携コーディネーター）
　　※卯津羅局員は、2015 年 2 月 16 日より就任していただいて
　　おります。

２．会員数変動

会員数の変動は下表のとおりです。

表１．会員数の変動

	2014 年 4 月 1 日時点	2015 年 3 月 31 日時点	増減
一般会員	３１社	３０社	▲１
特別会員	３５機関	３９機関	＋４
会員数	６６会員	６９会員	＋３

以　上